

鳥取 会報

第20号

2009年1月



冬の味覚 松葉がに(境港水産物直売センター)

目次	新年の御挨拶	2~3	趣味のひとつ	18
	シルバー人材センター理事長の抱負	4~10	シルバー人材センター紹介	19~20
	平成20年度事業実施状況	11~12	会員の広場	21
	合同面接会	13	講習会に参加して	22~23
	SP地域事業実施計画	14~15	最低賃金法の改正について	24
	健康シリーズ	16~17	表紙のことば	25

新年のごあいさつ



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 宇野 治 巳

新年明けましておめでとうございます。

県内シルバー人材センターの皆様はじめ、
役職員の皆様、そして関係行政機関・団体な
らびに、それぞれの地域においてシルバー人
材センターを活用され、またご支援をいただ
いている皆様方には、すこやかに新年を迎え
られたことを心からお慶び申し上げます。

昨年後半以降は、世界的な不況が蔓延し、
大企業を中心にしたリストラや派遣切りが大
きな社会問題となつてまいりました。

こうしたなかで、シルバー事業にはどのよ
うな関連が出てくるのか注目いたしていると
ころであります。特に、今進めているシルバ
ー事業の活性化計画による事業の展開や、適

正就業推進のため実施している労働者派遣事
業の運営など、その影響が懸念されていると
ころであります。

ただ、シルバー事業は、高い就業意欲を持
つ高齢者の就業確保事業であり、今後の雇用・
就業における環境整備のため、労働力の緊急
的な調整機能として、その使命や役割が強く
求められてくるものと想定されています。

申すまでもなく、シルバー事業は、地域の
中核的な高齢者福祉事業として、仕事の発注
者の皆様や働く地域の高齢者双方にとって満
足感が得られるよう、社会の担い手としての
使命を果たしてまいりたいと考えています。

今後とも、引き続き関係者皆様の御協力・

ご支援を賜りますようお願い申し上げますと
共に、この一年がシルバー人材センターの皆
様にとりまして、輝かしい年でありますこと
を心から祈念いたし、年頭のご挨拶いたし
ます。



新年の御挨拶



鳥取県商工労働部

部長 門前 浩司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には穏やかな新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃から本県の高齢者のための各種施策に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年、世界的な金融危機の影響等により日本経済が悪化し、これに伴い雇用情勢も急速に厳しくなり、派遣社員をはじめとする非正規労働者の解雇等の雇用調整が拡大しつつあり、本県におきましても秋以降こうした傾向がみられ、一層の雇用の悪化が懸念されます。このような雇用情勢に早急に対処するため、本県では国・関係機関と連携して離職者や企

業の支援のため必要な施策を取り組み始めたところであります。

今後、離職された高齢者の方々に対する取り組みとして、一時的な就業や技能習得を行うシニアワークプログラム事業などシルバー人材センターの活用も必要となってくると思われます。

一方、昨年末に鳥取県の中長期的な将来像として「鳥取県の将来ビジョン」を策定したところですが、このビジョンでは、持続可能な地域社会の形成を将来の鳥取県の姿の一つとして目指しており、このためには団塊世代をはじめ定年等で退職された方々が、その豊富な経験や知識・技能を活かして地域活動な

どで中心となって地域の活性化の担い手として活躍していただくことを期待しているところであり、シルバー人材センターの果たす役割は今まで以上に重要となってきました。

景気の低迷による就労先の減少など、シルバー人材センターを取り巻く環境も厳しさを増しておりますが、県としましても、高齢者の雇用の促進や生きがいづくりをはじめ、各種労働施策に鋭意取り組んでまいりたいと考えておりますので、会員の皆様方のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

終わりに、鳥取県シルバー人材センター連合会及び各シルバー人材センターの益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたします。新年の御挨拶といたします。



シルバー人材センター 理事長の抱負



(社)鳥取市シルバー
人材センター
理事長 木島敏行

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を迎えられ益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、センターを取り巻く経済情勢は、かつて経験のない長引く経済不況のあおりを受け、今まで以上に厳しい状況下に置かれています。この危機を役員、会員、事務局員が一丸となつて、この現状を乗りきらなければならないと存じます。

そのため、シルバー労働者派遣事業の開始等、年々多様化する発注者ニーズに対応できる組織体制への変換と体制強化を図ってきたところがあります。

当センターでは、センター全体の一斉ボランティア活動を年一回、二十六各地域班でのボランティア活動を年一〜二回自主的に実施していただいています。地域住民の方のあたたかご理解をいただき、感謝の言葉も多数いただいで

おります。

さらに、会員の皆様にはシルバー事業の基本理念である「自主・自立・共働・共助」の再確認と、就業開拓への積極的な取組等、会員がセンター運営に直接参画することにより、センター組織全体が活性化されるよう取り組んでいただきたいと思ひます。

また、昨年十二月法制化された法人の制度改革については、今後のシルバー人材センターの進む道を決定する重大な選択をすることになります。県連合会、拠点シルバーと慎重に審議を進めて行きたいと思つております。

これから逐次団塊の世代が退職を迎え、益々センターの意義が問われる時代になります。どうかこれらのごことを充分にご理解いただき、会員各位の絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、新年のご挨拶といたします。



(社)米子広域シルバー
人材センター
副理事長 河越庄市

新年明けましておめでとうございます。

シルバー連合会会員、事業関係者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

当センターは、各層皆様のご支持のもと、米

子市をはじめ日吉津村など関係機関のご支援と会員皆様のご協力により、順調に事業運営が図られていきますことを厚くお礼申し上げます。

現在、国及び地元自治体の行財政改革の流れを受け、補助事業及び公共事業は経験のない厳しい状態まで達しており、民間事業の需要も限定的です。このような状況のなか、国の施策では二〇一〇年度まで会員数百万人の目標値が掲げられ、高齢者や地域にとって魅力ある事業展開が課題とされています。

さて、昨年から高齢者及び障害者の介護・生活援助サービス、保育支援サービス、高齢者の多様な社会参加促進を有機的に実施することを目的に企画提案方式「安心な生活・子育て応援事業」を開始しました。拠点施設「ふれあいセンター」の学童保育事業がその一つで、今年はさらに充実を図る計画です。また、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、会員の運営参画も促進し、限られた財源での効率化・重点化を進め、充実に努めてまいります。

明るく活力に満ちたシルバー人材センター事業の飛躍を目指し、関係者皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。





(社)倉吉市シルバー
人材センター

理事長 野島 完

平成二十一年の新春を迎え、皆様とともに
慶び申し上げます。

さて、世界的な景気後退による経済変動で、
鳥取県の「有効求人倍率」は、約〇・六倍と全
国平均の約〇・八倍を大きく下回るなど、県内
のシルバー事業を取り巻く環境が厳しい中にあ
って、当センターの十一月末までの事業実績は、
一進一退で推移しています。

こうした中で、本年は当センターの更なる充
実を図るため、シルバー人材センターの理念や
仕組みについて、今一度会員の皆さんとともに
考える年になりたいと思います。

申すまでもなく、シルバー人材センター運動
の具体的な活動は、就業活動であり、その活動
が理念である「自主・自立」、「共働・共助」に
よる働き方ではなくてはなりません。

「自主・自立」については、自分の長い人生
経験と仕事能力を、できるだけ活かして活動す
ることです。他人から何かを与えられるのでは
なく、高齢者が一人の人間として、堂々と胸を
張ってその存在を主張し、社会の担い手となっ
て、生き甲斐をもって働くことではなくてはなり
ません。

また、「共働・共助」については、地域社会

の中での就業活動は、産業社会の効率性の追求
とか市場主義の労働とは違い、同じ目的を持つ
た高齢者が互いに協力し、その経験と能力を出
し合い、助け合いながら、時には分け合って、
仲良く楽しく生き甲斐に結びつく働き方ではな
りません。

このように、「自主・自立」、「共働・共助」
は、問題が生じた折々に立ち返り、その解決の
ための規範となるものであるところから、これ
らを総点検しながら、会員及び役員・事務局職
員が一体となり、強固なセンターを目指してま
いる所存です。



(社)境港市シルバー
人材センター

理事長 西村 岩市

謹んで新春をお祝い申し上げます。

最近における「就業形態の見直し！」、「適正
就業の推進」これらの状況の中で、企業就職者
の減少による事業実績の縮小、受注額の落ち込
みをいかに上昇させるか。

シルバー人材センターといえば、草刈り・剪
定・軽作業という先入観の人が市内でも少なく
ない。職場を離れた高齢者の方々が己の技を発
揮し、地域社会のためにと加入いただきながら、
仕事に就けない現状を打破すべく仕事を待つ体
制から見いだす姿勢。即いかにシルバー人材セ

ンターのPRを充実啓発すべき年と考えます。

リストラが進められつつある地方経済環境の
中で、このままでは従来の枠からの発展はでき
ない。行政や地域の人々が、今どのような課題
を抱えており、どのように取り組もうとしてい
るのかを尋ね、「それでしたら、こんな仕事を
やらせてもらえませんか」とアピールし、官公
庁機関での受注の態勢をより強く押し進めてい
くことが、私の今年の最重要課題と考えます。

会員各位のご理解と、ご協力をお願いし、年
頭の考えとします。



(社)南部広域シルバー
人材センター

理事長 田子 貢

新年明けましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては、新しい年を迎え
られ、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、当センターでは、今年で設立十七年を
迎えることとなりましたが、会員の皆様をはじ
め、役員・職員が安全就業で無事故に向けて、
一層のご協力をお願いします。

昨年、アメリカで起きた金融危機により、百
年に一度と言われる世界大恐怖が発生し、国内
でも大企業から中小企業まで不況に襲われ倒産、
工場の閉鎖・休止、わけても派遣労働者はクビ
になり、寮を追い出され路頭に迷うというよう

な、かつてないような状況が発生しました。この様な経済情勢の中でシルバー事業といえども影響は必至です。

この危機をどのようにして乗り切るのか、役員をはじめ会員・事務職員一致団結し、英知を出し切っていかねばと考えています。

また、今後のシルバーの活性化計画をどのようにして推進してゆくのか、会員の増強、そして就業先の開拓と行き先が見えてきません。

シルバー事業は、地域で支えられて成り立っています。このような時代であればこそ、初心に帰って懇切丁寧な仕事をしながら、ひとつずつ積み上げてゆくことが肝心ではなからうかと考えます。いずれにいたしましても、この不況から早く脱出してもらわなくてはと思っている次第です。

これから、団塊世代の方たちが退職を迎えられますが、この方達の受け皿をどのようにして構築してゆくのか、シルバーの意義が問われる時代となってきました。

今年も、一層の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願いし、最後になりましたが、関係者各位のご多幸とご健康をお祈りし、新年のごあいさつとします。



(社)智頭町シルバー

人材センター

理事長 小林 實夫

新年あけましておめでとうございます。

各シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、新しい年を迎えられ、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年来の「世界同時金融ショック」に端を発した「世界的不況」は、ご多分に漏れず当地域にも波及してくるものと思われま

す。然しながら、こういう時こそ、永年培ってきた高齢者の「知恵」・「技能」・「経験」が活かされる、ある意味、絶好の機会であると考えます。

当センターは、おかげ様で昨年四月に設立十周年を迎えました。これは偏に会員の皆様の努力によるものと、関係機関のご支援の賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

私も理事長就任以来、七ヶ月が過ぎました。

この間「行政の谷間を補完する」を基本にしてセンター運営を行ってまいりましたが、今年もこれを推し進めてまいります。

新しい年を迎え、私達シルバー会員が地域社会の真の担い手として果たす役割と今後の活動の在り方についてあらためて自覚し、シルバー事業を推進していかねばならないものと考えています。

最後になりましたが、県シ連を始め各センタ

ーの益々のご発展を祈念いたします。



(社)岩美町シルバー

人材センター

理事長 谷口 幹彦

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様、関係者の皆様には、ご家族ともどもお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当シルバーは、一昨年創立十周年という節目の年を迎え、これを機に、シルバー関係者一同、更なる事業の活性化と飛躍への誓いを新たにいたしました。その後、会員・役職員の結束した努力にもかかわらず、明るい展望も見出せないまま一年が経過しました。

皆様ご承知のように、日本はおるか世界的な経済の大不況の波が急速に押し寄せ、回復の見通しもままならぬ状況が続いています。シルバー人材センターを取り巻く環境も、以前にも増して厳しく、課題も山積しているように思われます。

しかし、私達はこの時こそシルバーの役割が一層重要であることを自覚し、地域社会の多様なニーズに応える事業の充実に努めなければなりません。わがシルバーは年度後半には、会員の自発的な発案により、新しい事業の開発の工夫が見られました。伝統技能の継承を目的とし、

岩美町シルバークラブが発足し、お正月の必需品、注連飾りの製作販売の試みがなされました。町特産の「まこも」の葉を活用した海老飾りが試作され、販売の見通しも立ったことは喜ばしい限りであります。

会員自らが英知と経験・技能パワーを結集して、地域社会に貢献し、ささやかではあります。存在感を示したものと自負しております。引き続き、県内のシルバークラブ関係者の皆様のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

県シ連の益々のご発展を祈念申し上げます。



(社)湯梨浜町シルバー

人材センター

理事長 足立春人

平成二十一年の新春を迎え、皆様とともにお慶び申し上げます。

去年は、諸外国においても、国内においても大変な年でありました。京都の清水寺の貫主が話しておられたように、真に大変な年であり、昨年の漢字は「変」でありました。

当センターにおいても、受注件数が減少傾向にあり、会員の就業機会も減少しており、運営面で大変な年であったように思います。

皆様もご承知のように、国や地方公共団体は、センターの育成や高齢者に対する就業機会の確

保等について必要な措置を行うよう、高齢法第四十五条に定められています。

この趣旨は、今後一層少子高齢化が進む中、高齢者が永年培ってきた技術と技能や知識・経験を活かして就業することにより、日々健康で地域社会に貢献できる高齢者を確保しようとするものであります。これを受けて会員は、シルバー人材センターの基本理念とされている「自主・自立、共働・共助」の精神に基づき、体力・能力・希望に応じた就業を行っております。

本年度は、会員の増強及び地域班・職能班の再編成を重要課題に掲げておりますが、特に会員の増強については、当センターの活性化計画の目標を達成するため、会員の皆さんに努力していただいております。また、企画提案方式の事業を検討しているほか、独自事業についても実現に向けて検討しており、役員と会員の皆さんが一丸となり、センター事業の充実を図るため、新しい事業に取り組みたいと考えております。



(社)夢浦町シルバー

人材センター

理事長 足立慎夫

あけまして、おめでとうございます。おかげをもちまして、国庫補助団体として五年目を迎えることができました。ご理解とご支援を賜り

ました関係各位に心から感謝申し上げます。少子高齢化に拍車がかかる社会にあっては、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが強く求められております。

従って、シルバー人材センターの果たす役割は、いっそう重要性を増してきています。

活力ある経済社会を維持・発展させ、潤いのある生活を築いていくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験、及び確かな技能を活かして社会参加をし、健康で生き甲斐のある社会の実現を目指すことが重要な課題となっております。

現在、シルバー事業を取り巻く環境は、一段と厳しさを増してきていますが、会員の地道な活動が地域から高い評価を得ており、より確かな実績を上げること、更なる信頼に込めてまいりますと存じます。県の活性化計画に連動して会員数の増加、就業率の向上、受注件数のアップ等を図るべく全力を尽くしたいと存じます。

今年も、「安全と信頼」をキーワードに、会員相互の親睦を図り、地域に貢献していきたいと念願するものであります。





(社)北栄町シルバー
人材センター

理事長 岸田忠良

平成二十一年の新年明けましておめでとうございませう。

光陰矢の如しとか、平成の時代になってから早いもので二十年、あつという間に過ぎ去った感があります。

今、高齢社会の中でシルバー人材センターの目標・役割も社会の動きに対応して変化しており、従来の「高齢者に生き甲斐と働く場の提供」だけでなく、シルバーとして高齢者が社会活動の一環として、いかに地域社会の活性化に貢献できるかが問われているように感じます。

団塊世代の到来と宣伝されて久しいが、郡部のせいかな新会員の加入が少なく、自然減に追いつかず減少傾向がありますが、若年会員の増強を図りたい。

昨年から大不況の波の真っ只中にあり、本年も景気回復の兆候も見えそうにない状況下でシルバー事業が伸展できるかどうかの正念場ではないでしょうか。

こんな時こそ、干支のうし年に因んで『蝸牛の如く』で一步一步地道に実績を積み上げてゆき、平成二十一年を終わりたいものです。



(社)大山町シルバー
人材センター

理事長 林原彦一

シルバー人材センター会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、百年に一度と云われる大不況の津波に見舞われました。八月にはガソリン価格が一リットル百八十五円という、かつてない高値が私達の車社会の生活を直撃しました。

年末に近づくにつれ、毎々、不況・不況・大不況という言葉がやたらにと飛び交いました。派遣社員切りに象徴されるように、本当に困った人達が沢山出た年でした。

しかし、その不況は適切な解決策はなく、本年はさらに大変になると云うのがおおかたの人の見方ようです。そんな中、シルバー人材センターはどんなビジョンを掲げ、何を語ればいいのか、自問自答に苦慮します。

しかし、これで日本が沈没する訳でもありません。昔の諺に「風が吹けば桶屋がなんとやら」。シルバー人材センターは不況に強い一面も持ち合わせています。安い労働力、小回りがきき、素早く対応できる特異性を活かして就業開拓を進め、不況を乗り越える年にしたいと考えています。

私達が期待していた団塊世代の方の入会もままならない状況です。今年の課題の一つかと思

います。

また、何はともあれシルバー人材センターは補助金を戴かなければ成り立たない構造的な仕組みになっています。埋蔵金や内部留保金があるわけではありません。今年は、行政への働きかけを一層強める年になろうかと思っています。



八頭町シルバー
人材センター

理事長 衣笠春寿

新年明けまして、おめでとうございます。

新しい年を迎え、会員皆様が益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私事ではありますが、昨年シルバー人材センターにてお誘いを受け、入会し、定期総会に出席したところ、早速理事に選任され、その日の理事会にて理事長の大役に任を受けました。何も分からないうちに半年間が過ぎましたが、総会で決議された法人設立に向けて、町当局を始めシルバー連合会、鳥取労働局、鳥取県等よりのご支援・ご協力により、設立準備委員会・設立発起人会を設け、何とか十二月十五日に一般社団法人八頭町シルバー人材センターの設立総会を多数のご来賓の方々を始め、約八十名の出席のもと開催し、全議案が原案どおり可決され修了しました。昨年は、幸いにも会員数・事業量共増加しました。本年からは、法人

としての活動となります。国の制度にも、より一層の会員数の増加と事業の拡大を図り、地域のために活動し、地域の人から喜ばれ、愛され、信頼されるシルバーセンターとして運営していきたくと考えてまいりますので、今後ともご指導を賜りますようお願いし、新年のごあいさつといたします。



江府町シルバー
人材センター
理事長 宇田川 潔

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい年を迎えるたびに、今年こそは事業の拡大と会員増強に精力的に取り組み、飛躍の年にしたいと決意を新たにしますが、結果的には空念仏の域を出ずに終わってしまいます。

昨年、米国の住宅ローンの焦付き問題に端を発した金融破綻は、自動車業界を直撃する激震となつて、米国のみならず我が国を含め世界中を巻き込み、想像もつかない恐怖となつて吹き荒れました。

まさに、一〇〇年に一度と言われる不況の波は、景気の後退・失業者の増加を招き、地域社会に暗い影を落としています。

加えて、地方自治体の財政悪化は、公共事業

の減少に伴う建設業界を始めとする企業倒産に歯止めがかからない状態となっています。

一方、私どもの生活に直結する各種公共料金の値上げを筆頭に、助成金や補助金のカットは、福祉事業に至るまで目に見えない形で生活を圧迫しております。

この様な社会情勢の中で、組織としていかに立ち向かつて行くのか、難題は山積みしています。「座して死すより立ち上がって行動しよう」の言葉があります。今こそ、軸足を見直し、この不況を逆手にとり「経験」「技能」「知恵」を前面に据えて地域に貢献する主役を目指し、更なる努力を傾注する決意を会員ともども新たにしています。



日野町シルバー
人材センター
理事長 瀬田 寿幸

新年明けましておめでとうございます。

シルバー事業関係者の皆様、ご家族の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、日野町シルバー設立十周年の記念すべき節目の年を迎えることとなりました。

その間、町当局をはじめ、町民の皆様のご支援、ご理解あるご指導、そして会員の方々のご協力、ご努力により事業が進展し、今日に

至りましたことに、厚く感謝とお礼を申し上げます。また、今日の礎を築いてこられた諸先輩方の尊いご労苦に対し、深く敬意を表するものであります。

ご承知のように、シルバー事業を取り巻く環境は、必ずしも良好とはいえず、我が町は「準用再建団体」回避へむけて予算の徹底削減による赤字減らしを行っています。

シルバー人材センターへの補助金も年々削減され、平成十八年度はゼロ、十九年度は僅か五十万円、二十年度は再度に亘る陳情で七十万円、町社会福祉協議会から補助金七十万円、会員による受託事業収入五百五十万円の計六百九十万円の前算で何とか四十三名の会員でシルバー人材センターの灯火を守り続けて、ここに新年を迎えました。私達シルバー人材センターは地域社会を支える側に軸足を置き、今後も一人暮らし高齢者や高齢者世帯等を見守りながら、活動を展開してまいります。





日南町シルバー
人材センター

理事長 山浦基治

会員の皆様、あけましておめでとうござい
ます。

さて、本年は不況にもめげず頑張りました。計画といたしましては、一つには会員との和合、広く会議を起こし、お互いに話し合い協力し合うことです。

二つには会員の確保。年々会員が減り、いざという時に人手が足りなく、業務が受注しきれない。どうしたらよいか頭の痛いところです。

三つには事業拡大。我が町は財政が苦しく、高齢者世帯への助成制度が厳しくなり、受注が減っております。従って、受注が減り、個々の仕事が少ない。これでは会員の確保はできない。もう少し援助の幅を広くしてもらいたい。受注した仕事は親切丁寧にすること。受注者の方から満足してもらい、感謝されるような仕事をしなければならぬ。それには、先ず安全就業時間を大切にしなければならない。

定期的に家を回り、状況を見て家の人と話し合いアドバイスをする仕事内容を打ち合わせする。これにより、受注との融合ができると思います。お互いに良く理解し合えることが一番大切である。センターの運営面でも町の助成が減り、現在では、発注者より事務費として八%負

担をしていただいておりますが、これでは苦しい状況です。なんとか良き手だてはないものかと苦慮しております。種々の諸問題を抱えながら新しい年を迎えましたが、会員の皆様の努力がなくては何事も進まないと思えますので、今年もよろしくお願いいたしますとともに、健康には十分注意され、快適な作業を行いましう。以上、年頭のごあいさつと致します。



平成二十年度 事業実施状況

福祉・家事援助サービス 推進担当者研修会

平成二十年十月九日（木）倉吉シティホテルにおいて各シルバー人材センター役員等の参加のもと、福祉・家事援助サービス事業研修会を開催した。



基調講演は、（社）府中町シルバー人材センター

業務係長山代佳世氏により「『シルバー人材センターが行うこれからの福祉・家事援助サービス』と題した講演があり、又、（社）境港市シルバー人材センター福祉・家事担当永井瑠美子氏の『福祉・家事援助事業の現状と班の活動について』の事例発表が行われました。

続きまして、（社）鳥取県シルバー人材センター福田主任より『企画提案型事業（福祉・家事援助の取組について）』の説明が行われた。

公益法人制度改革について

平成二十年十月二十九日（水）鳥取市シルバー人材センター会議室において、各シルバー人材センター参加のもと、NRI社会情報システム（株）兼永敏博氏より、『現行公益法人制度と新たな制度』・『一般社団法人と公益社団法人の関係及び比較』について説明を受けた。

第一回理事長・事務局長合同会議

平成二十年十一月四日（火）倉吉シティホテルにおいて、第一回理事長・事務局長会議を開催しました。

全国事務局長事務打合会議の報告と、連合会設立十周年記念式典兼経験交流大会の開催及び今後のシルバー事業についての意見交換がおこなわれました。

議題

- 一 全国事務局長事務打合会議の報告
- 二 鳥取県シルバー人材センター活性化計画について
- 三 鳥取県シルバー人材センター連合会設立十周年記念式典兼経験交流大会の開催について
- 四 平成二十年度SP事業実施状況及び留意事項について
- 五 その他

設立十周年記念式典 兼経験交流大会

平成二十年十一月二十八日（金）午前十時三十分から倉吉市において、（社）鳥取県シルバー人材センター連合会設立十周年記念式典兼経験交流大会を開催いたしました。



大会は、県内シルバー人材センターの役員・会員・市町村の担当の方々約百五十名の参加のもと、宇野連合会会長の挨拶のあと、鳥取労働局佐々木局長、倉吉市増井副市長よりご祝辞を賜りました。



基調講演には、(社)全国シルバー人材センター事業協会専務理事矢田貝寛文氏をお迎えし、『これからの高齢社会におけるシルバー事業の役割について』と題して講演をいただきなど盛大に開催することができました。

また、アトラクションとして、(社)南部広域シルバー人材センター舞踊同好会『なんぼなでしこ』の皆様により『よさこい鳴子踊り』、『津軽ジャンガラ三味線』を披露していただき、皆

様、楽しく拝見いたしました。

午後には、先進地シルバー人材センター事例発表として(社)松江市シルバー人材センター副理事長古瀬力夫氏より『専門部会の取組活動について』、県内シルバー人材センターより



(社)鳥取市シルバー人材センター理事徳田邦子氏に『女性部会活動の取組について』発表をいただきました。

引き続き、連合会会長、事例発表者を助言者に迎えて質疑応答・意見交換が行われ、盛会のうち設立十周年記念式典兼経験交流大会を閉会いたしました。



合同面接会の開催(地域別)



シニアワークプログラム地域事業の一環として、地域のハローワークとの共催により、各講習修了者及びハローワーク及び一般の高年齢求職者を対象とした、地域別の合同面接会を実施しました。
一月八日現在、両地域の採用結果は五名決定しております。

◎東部地区

・日 時 平成二十年十一月二十五日(火)
十三時三十分～十五時三十分

- ・場 所 白兔会館
- ・求 人 四社四十一名
- ・求職者 三十四名
- ・共 催 鳥取公共職業安定所

◎西部地区

・日 時 平成二十年十二月十日(水)
十三時三十分～十五時三十分

- ・場 所 ホテルサンルート米子
- ・求 人 九社 三十五名
- ・求職者 五十三名
- ・共 催 米子公共職業安定所



シニアワークプログラム地域事業講習風景



オフィスクリーニング補助講習



訪問介護員養成講習

平成20年度シニアワークプログラム地域事業 実施計画及び実施状況

シニアワークプログラム地域事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力のもと、多種多様な技能講習を事業主団体と連携をはかりながら実施する事業です。

講習の種類は、長期講習(40時間を超える講習)と短期講習(20時間を超え40時間迄)の2種類となります。

平成20年度は、長期講習17回(介護講習4回を含む)、短期講習10回を計画し、順次実施しております。

1. 長期講習

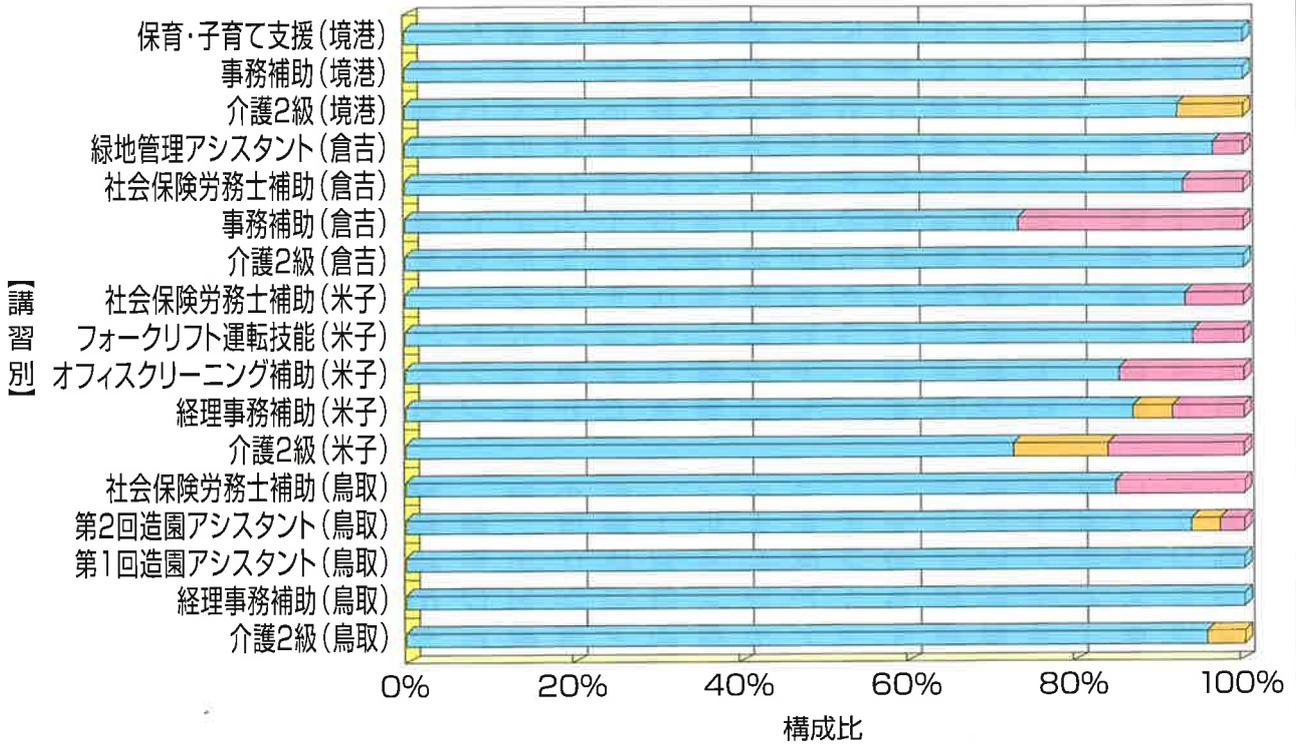
講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
技能講習						
経理事務補助	米子会場	5月27日～ 6月 6日	9日間	22名	22	19
事務補助	倉吉会場	6月 2日～ 6月27日	9日間	20名	22	16
経理事務補助	鳥取会場	6月10日～ 6月20日	9日間	22名	25	25
造園アシスタント1	鳥取会場	6月25日～ 7月 4日	8日間	20名	26	26
フォークリフト運転技能	米子会場	7月14日～ 7月24日	8日間	20名	15	14
保育・子育て支援	境港会場	7月15日～ 7月25日	8日間	20名	12	12
事務補助	境港会場	8月26日～ 9月 5日	9日間	20名	12	12
緑地管理アシスタント	倉吉会場	9月 1日～ 9月10日	8日間	25名	25	24
社会保険労務士補助	鳥取会場	9月 3日～ 9月12日	8日間	20名	19	16
社会保険労務士補助	米子会場	9月24日～10月 3日	8日間	20名	27	25
社会保険労務士補助	倉吉会場	11月 4日～11月13日	8日間	20名	13	12
オフィスクリーニング補助	米子会場	11月 5日～11月14日	8日間	20名	13	11
造園アシスタント2	鳥取会場	11月10日～11月20日	9日間	22名	30	28
介護講習(2級課程)						
訪問介護員養成研修	倉吉会場	8月20日～10月 2日	23日間	20名	14	14
訪問介護員養成研修	米子会場	6月26日～ 8月 6日	23日間	20名	18	13
訪問介護員養成研修	鳥取会場	10月 6日～11月17日	23日間	20名	20	19
訪問介護員養成研修	境港会場	10月15日～11月26日	23日間	20名	12	11

2. 短期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
緑地管理アシスタント	岩美会場	7月 1日～ 7月 7日	5日間	20名	20名	20名
子育て支援	米子会場	8月22日～ 8月29日	5日間	15名	15名	14名
警備業務補助	鳥取会場	9月25日～10月 2日	6日間	15名	18名	16名
造園アシスタント	智頭会場	9月29日～10月 3日	5日間	20名	18名	17名
造園アシスタント	南部会場	10月15日～10月21日	5日間	15名	30名	29名
警備業務補助	米子会場	10月23日～10月30日	6日間	15名	13名	11名
子育て支援	倉吉会場	12月 1日～12月 8日	6日間	15名	16名	16名
室内装飾アシスタント	北栄会場	1月予定	5日間	15名		
室内装飾アシスタント	倉吉会場	2月予定	6日間	15名		
室内装飾アシスタント	鳥取会場	2月予定	5日間	20名		

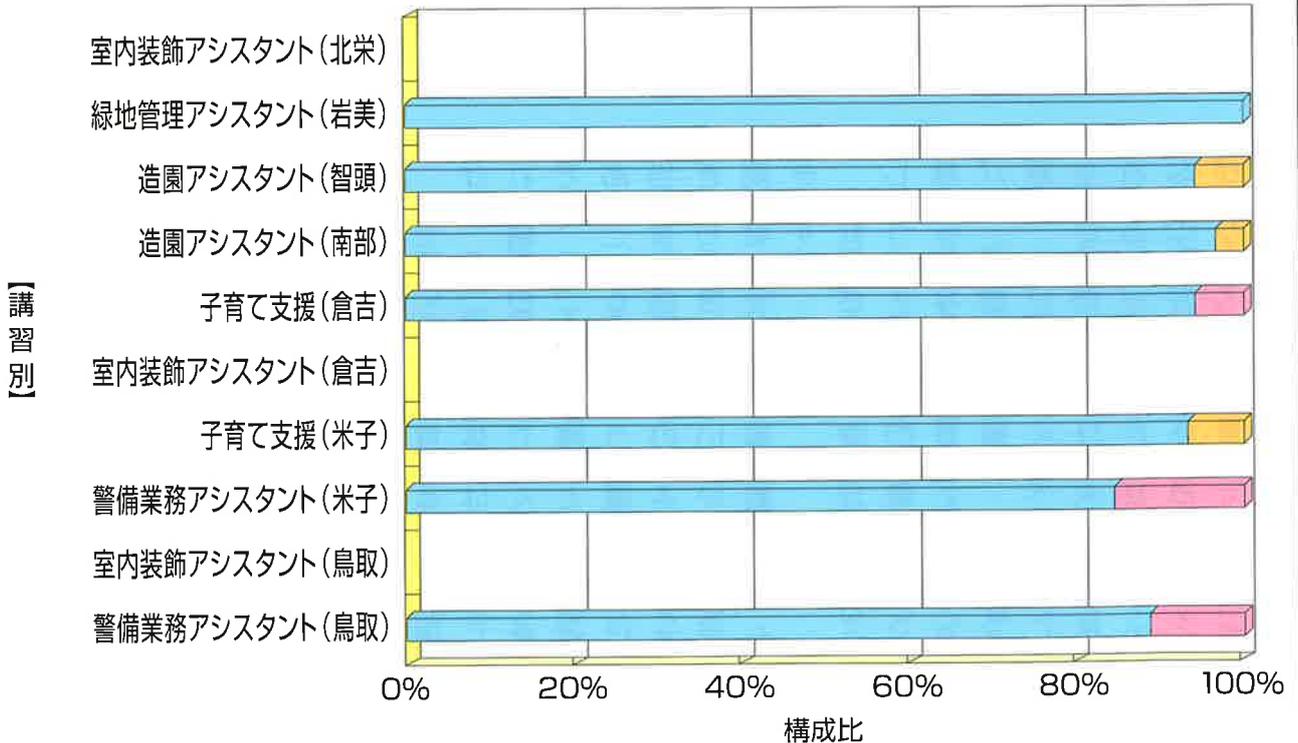
受講者データ（長期講習）

■ 修了 ■ 途中修了 ■ 不参加



受講者データ（短期講習）

■ 修了 ■ 途中修了 ■ 不参加



糖尿病と生活習慣



山陰労災病院

糖尿病代謝・内科副部長

宮本美香

糖尿病とは

糖尿病という名前はよく聞いたことがあるかもしれませんが、尿に糖がでる病気、というわけではありません。すい臓から分泌されるインスリンという血糖値を下げるホルモンの分泌低下や作用不足により（つまりインスリンの働きが不十分になるため）血糖値が上昇する病気です。初期の段階では自覚症状はほとんどありませんが、高血糖が持続すると心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化疾患、神経障害、網膜症などの眼の病気、腎症（腎臓病）、その他風邪なども含め様々な疾病にかかりやすくなります。

糖尿病は生活習慣には密接な関係があります。糖尿病の治療の柱は食事療法、運動療法であり、たとえ内服薬やインスリンが必要な場合であっても食事運動の基本ができていないとコントロールは良くなりません。

厚生労働省二〇〇六年糖尿病実態調査の結果では現在糖尿病が強く疑われる人は八百二十万人、糖尿病の可能性が否定できない人は千八百七十万人、四十歳以上の三人に一人は糖尿病と

言われています。決して特別な病気ではありません。糖尿病を予防する意味でも生活習慣が基本となってきます。また、症状がない病気ですので健康診断で検査を受けて確かめる、といったことも大切になってきます。

メタボリックシンドロームの診断基準にも血糖値が含まれており、より早期から糖尿病を予防治療していくことが重要視されてきています。

糖尿病のタイプ

糖尿病は自己免疫疾患が原因となる1型糖尿病、生活習慣病と言われている2型糖尿病、そのほかの疾患が原因で起こってくる糖尿病、妊娠糖尿病などがあります。

1型糖尿病とは体の外からの異物（細菌やウイルス）の侵入を防ぐはずの免疫システムが間違えて自分の膵臓のランゲルハンス島という部分を破壊してしまいインスリンが出なくなってしまうタイプの糖尿病です。そのためインスリン分泌を促す内服薬は効果がなく治療にはインスリン注射が必須となってきます。一般に言われている糖尿病は2型糖尿病のことで日本人の九十〜九十五%が2型糖尿病です。遺伝的な背景を持った人に、過食・肥満・運動不足・ストレスなどの環境因子が加わることによって、インスリン分泌低下と末梢組織におけるインスリン抵抗性が増大し、2型糖尿病を発症します。

近年、糖尿病人口が急激に増加しているのは

車などの交通機関の発達により歩く機会が減って運動量が減少していることや、食べたい時に好きなだけ食べることができるようになった生活、ストレスの多い生活といった環境因子の変化によって引き起こされているといえます。

対策

①食事療法

生きていくことに食べることは必須です。しかし、食べ過ぎて体には害を及ぼします。それは糖尿病の方だけでなく誰にでも言えることです。食べることは誰にとっても健康の基本であるといえるでしょう。糖尿病の方にとっても当然食事療法は治療の基本となります。食べすぎて栄養にならないばかりか糖尿病であれば高血糖となり、その事が動脈硬化、合併症を招きます。

暴饮暴食をせず、腹七分目にするようにしましょう。また、食事の回数が減るとドカ食いの基となりますので「三食きちんと摂ること。ご飯・パン・麺類などの主食と、肉や魚などのおかず、野菜、とバランスよく食べるようにしましょう。主食さえ減らしておけば大丈夫、と思っておられる方もいるかもしれませんが、その分卵や肉などの動物性食品を多く摂取しやすくなる傾向があります。ご飯は量を守って食べれば腹もちがよく、ドカ食いを防ぐこともできます。

詳しくは食品交換表という本を使用します。食品がグループ分けされており、一日に摂取する食品がわかりやすく書いてあります。糖尿病食は健康食とも言われており、糖尿病患者のみが食べるものではありません。体格や仕事量によって摂取カロリーはそれぞれ違っていても食事のバランスとしては糖尿病食に従って摂取していただけるとご家族も含めて健康を維持できます。

糖尿病食は誰にとっても健康食であることは間違いありません。

②運動療法

筋肉はブドウ糖を取り込んでエネルギーを作り体を動かす役割があります。糖尿病では体(筋肉)を動かすことでブドウ糖を使い、血液中のブドウ糖を筋肉に取り込むことで血糖値を下げます。安静にしているとエネルギーの消費が少ないために筋肉のブドウ糖消費が少なく、血中のブドウ糖は高いままの状態になります。

合併症が進行していない限り血糖値を下げるためには運動は欠かせません。

では、どのような運動が良いのでしょうか？スポーツをしないということではありません。いつでもどこでも一人でもできる運動が基本です。運動することを生活の中で自然に取り入れることは出来ないでしょうか。自動車でいくところを自転車に、バス停をひとつ前で降りて歩

いてみる、エレベーターを階段にしてみる、など小さいことから始めてみましょう。運動の目安としては簡単には、話をしながら息が切れない程度にするのが良いといわれています。基本的には少しでも毎日続けられる運動が良いですが、運動の効果は2日程度持続しますので自分の体力や体調に合わせて楽しんで体を動かしてください。

運動は慣れない方は体を痛めてしまうこともあります。また、合併症や心臓や肺などの疾患、膝や腰の疾患などで運動制限が必要な方もおられますので、どの程度の運動が良いか必ず主治医に確かめてください。

③薬物療法

薬物は内服薬、インスリン注射等最近様々な種類のものがあります。内服薬ではブドウ糖吸収を遅らせるもの、インスリンの働き目を良くするもの、膵臓を刺激してインスリン分泌を促すもの等があります。内服のタイミングや量を間違えないようにしないと十分効果が出ないものもあります。自分の薬の名前や内服のタイミングなどをもう一度確かめてみましょう。

食事療法、運動療法などでもコントロールが出来ない場合は薬物で不足している作用を補ってコントロールをすることになります。

インスリンや内服薬が始まったからといって食事運動をおろそかにすると、薬物の効果が十

分發揮出来ないばかりかコントロール不良、肥満を助長しかねませんので食事運動療法は継続して下さい。薬を極端に嫌って使用しない方もおられますが、糖尿病の重症度は合併症の進行度で決まります。合併症が進行しないためには血糖コントロールが基本となりますので必要がある場合は薬をためらわないことも大切です。また、糖尿病の方は高血圧や高脂血症などの病気も併発しやすいですし、それらのコントロールもより厳密に行って合併症が出ないようにコントロールしていきます。検査を受け、生活習慣を見直してもコントロール出来ない場合は自分に合った薬をきちんと飲む必要があります。

糖尿病治療、予防のための生活習慣とは糖尿病の方に限らず現代人が忘れてしまった健康的な生活ともいえるでしょう。昔の生活に戻れということではありませんが、本当に自分の体が必要としている食事や生活について「体の声を聞く」機会を作ってみてもよいと思います。あまり考えすぎず、にできると思える部分から生活に取り入れてみてはいかがでしょう。



趣味のひとつとき

バドミントンの出口



(社)北栄町シルバー人材センター

岩垣 毅

昭和三十七年高校卒業と同時に、大栄町役場(現北栄町)に就職することができました。

職場のスポーツ活動は、主に野球部があり、新規職員はすべて野球部に入り、練習に励んでおりました。

しかし、毎年夏に東伯郡民体育大会が開催されておりましたが、大栄町(現北栄町)からバドミントン種目の参加者がなく、先輩である竹歳副理事長の勧めでバドミントン大会に参加しようということになり、全く経験のない私が先輩の指導を



受け、練習を始めたのがきっかけで、バドミントン競技のとりこになったところでした。

以来、各種大会に参加するとともに、試合を見て良いところを練習に取り入れ、四年後の昭和四十一年の東伯郡民体育大会で初の男子団体優勝を果たすことができ、ともに練習した職場の仲間と感激したことを思い出しています。

昭和五十二年には役場チームとして鳥取県実業団連盟に加盟するとともに、昭和五十四年から県実業団連盟理事長を任されたことに伴い、わかつり国体の事務局次長として県バドミントン協会の役員も引き受け、以後副理事長等を勤めた後、昨年から理事長を引き受けております。

今年六月、北京オリンピックの日本選手団の壮行会に出席する機会があり、各種報道でおなじみの「オグシオ」小椋・潮田選手や廣瀬選手など日本のトップ選手と懇談することができ、大変うれしくバドミントンをしていて良かったと感動いたしました。



また、今年十月、全国スポレク祭「スポレク滋賀二〇〇八年年齢別バドミントン」に、北栄町チームとして出場でき、六十歳過ぎててもゲームが楽しめることに感激しているところです。これからも、健康づくりのため週に二〜三回の練習に汗を流し、楽しんでいきたいと思えます。



シルバー人材センターの紹介

(社)湯梨浜町シルバー人材センター

事務局長 河本清廣

当センターは、町村合併に伴い、平成十五年十二月に羽合町・東郷町・泊村の会員による湯梨浜広域シルバー人材センターを設立し、



平成十六年十月に湯梨浜町シルバー人材センターへ名称変更を行っています。現在の会員数は、男性六十一名と女性七十四名の合計百三十五名で、役員は理事十名、監事二名、事務局職員二名で構成しており、本年度は特に新規会員の増強と会員組織体制の充実に取り組んでいます。

新規事業の受注により、新規会員が九名加入された事例を紹介いたします。この事業は、町と観光協会が企画された事業で、県内外のツアー客に町内の観光名所「今滝」の現地で地元産の食材を活用した食事を「滝床料理」として提供しようと、本年度から取り組まれた事業です。シルバーの会員は、今滝周辺の清掃とテーブルの準備及び後始末を四人体制で行っていますが、新会員九名を含む二班十名のグループを編成し、班の交代制で就業しています。委託期間終了時には、グループ会員と事務局と役場担当者との懇親会が提案され、



全員参加して「滝床料理」を食べながら、来年度に向けての意見交換が行われました。

また、会員の組織的な体制を見直すため、地域班職能班推進委員会を立ち上げ、七名の委員により課題解決に向けて協議を重ねています。会議では、現場の声として積極的な意見が出され、職能班を再編成するため全会員から希望アンケート調査を実施することになり、委員を中心に配布と回収が行われているほか、会員の安全就業に関すること、ボランティア活動に関すること、広報活動に関することなど、具体的な話し合いが行われています。委員会の意見や活動状況は、理事会に報告して、重要事項については、総会に提案することになっています。

八頭町シルバー人材センター

事務局長 西村 誠 治

八頭町は鳥取県の東南部に位置し、東は若桜町、西と北は鳥取市、南は智頭町にそれぞれ接しています。平成十七年三月三十一日、郡家、八東、船岡の三町が合併し、新しい町「八頭町」が誕生しました。人口は現在一万

九千六百九十一人で六〇歳以上の人口は六千五百六十一人、その内シルバーの会員数は百三十三名です。

一方、行政の指導と支援を受け平成十七年七月一日には八頭町シルバー人材センターを設立し、高齢退職者による地域のための活発な活動を展開してきております。

現在、八頭町においてシルバー人材センターは住民の多岐多様な要望を満たすうえで、なくてはな



らない存在となっており、住民の期待の増大と組織の拡大に伴い、任意団体での事業の運営及び財政事情など不都合な点が多く見受けられるようになってきました。

そのため、平成二十年十二月一日より施行された「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に則り、鳥取県内で十二番目の法人格を取得するため、現在諸手続を進めているところです。

シルバー事業については、現在会員数、百三十三名で粗入会率は一・〇%です。

平成二〇年度実績（四月～十一月）は受注件数、八百十一件・就業延人員は三千八百二十九人・契約金額は千五百三十七万二千四百円となっています。小規模



ながら、会員の皆様の努力と住民の方々のご理解により、昨年同期より受注件数・就労日数・金額共に、約三十%増となっております。



その他、地域のイベントへの参加と支援、施設の美化等のボランティア活動も行っております。今後の課題としては、季節によってムラのある受注量の不均衡の解消、就労会員の固定化の解消、又、発注者の方々に満足していただけるよう仕事内容の充実と安全就労等に日々研鑽を重ねてまいります。

会員の広場

達成感の喜びを

感じています



(社)大山町シルバー
人材センター

米山修市

私は、定年退職後、ポリテクセンターに入校し、少しだけ襖・障子張りを習い、自分では簡単にできるつもりで我が家の襖を張ったところ、至る所に空気が入り見るも無惨な襖となりました。たかが襖、たかが障子と侮れないことがしみじみと思い知らされました。そんな時、人材センターより襖・障子張りの講習会があるとのことでの出席し、講習を受けました。なるほど感銘を受け、やる気になったのは事実である。この時点で、私は人材センターの会員になって五年目の出来事でした。

その後、よき先輩に恵まれて弟子入りし、約一年が経過するところです。(ジョークもおもしろい先輩です)一から十までという言葉がありますが、まさにその通りで、まさしく六十六の手習い中でありませう。

襖・障子張りの仕事は、まずは相手の都合、そして現物(襖・障子)の確認、見積もり、取

り外し、運搬、張替、搬入セッティング(この時も非常に気を遣う)。最後に、事務報告となる経過をたどる。特に、取り外すとき、壊さない、キズを付けない等々、そして、作業時には気が抜けない繊細な作業が朝から夕方まで淡々と続くのである。終わったそんな日は、心地よい疲れで早々と眠るのである。

なにはともあれ、納入して発注者の方からきれいになった、明るくなった「ありがとうございました」という言葉を戴いたとき、達成感を感じ、本当の喜びを自分自身が感じることができる瞬間である。それ故に、次の仕事もやる意欲が湧く。無論、まだ先輩と一緒にやる。これからも依頼があれば、積極的にいきたい。

最後に、シルバー人材センターは社会のためになくしてはならない存在であると痛感しています。



(社)岩美町シルバー
人材センター

上村 栄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様、ご家族の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

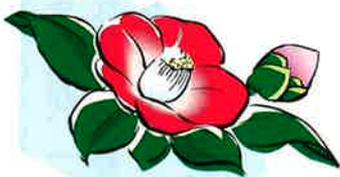
岩美町シルバー人材センター女性部の活動を少しご紹介させていただきたいと思えます。

当センターには、本会・互助会・女性部と三

部門あります。女性部は、ずっと以前に立ち上げていたのですが、開店休業状態でした。平成十五年、女性理事・事務局とも相談して、第一回親睦会を「いなばじ」で開催することができました。

平成十九年、本会が設立十周年を機に、女性部の代表一名・会計一名・世話人二名・事務局女性職員一名の役員を決め、今後の活動方針をアンケート調査しました。その結果、ボランティア活動・と言う意見が多く見られ、これらを柱として年二回くらいの活動を行うことといたしました。平成二十年十月、第一回ボランティア活動として「岩井老人福祉センター」「就業改善センター」の二カ所の草取り・清掃活動を実施。研修会として、七釜温泉「ゆーらく館」にて部会を開き、ボランティア活動の反省会等話し合い、午後、浜坂町「相応峰寺」にて、和尙さんの話をお聞きました。

当女性部は全会員の三分の一の七十名定らずと少ないため、横のつながりを深め、そして仲間を増やして、益々発展していくよう頑張っていきたいと思っております。活動を始めて日は浅いのですが、充実した会に、そして女性部を立ち上げて良かったと思われようかなになればいいと願っています。



講習会に参加して

訪問介護員養成研修

「2級課程」に参加して

(鳥取会場)



鳥取市

奥村 千津子

十月六日より十一月一七日までの一か月半の

間、訪問介護員養成研修に参加
させていただきました。

本研修に参加できることは、
かねてより願っていたことでも
あり、選考に残って大変嬉しか
ったのと同時に、熱意とやる気
を持って挑む決意をしました。

まず、最初の講習を受講し、
最も感じたことは、福祉業務に
関する奥深さに、カルチャーシ
ョックを受けたことです。

“高齢者保健福祉の制度”

“障害者福祉の制度”

“医療の基礎知識”

“ホームヘルパーの職業倫理”

……等々



学生時代に経験した講義を
思い出し、身が引き締まるよ
うでした。

でも、その反面、受講者の
皆様と「ロールプレイング」
及び「レクリエーション」等
を通じて親しくなり、興味深
く楽しくもありました。

また、人を対象とした業務
でもあることを色々な意味で
理解していく内に、想像以上
の責任の重大さを感じる毎日
でした。

この様な業務を本当に
私がやっていけるのか、
続けていけるのか心配に
なりました。

しかし、そんな心配も
現場で活躍されている方
の体験談を聞いていく内
に、「人が人として生き
ていく」ということの「喜
び」「楽しみ」、喜怒哀楽
のお手伝いをさせていた
だくというところは、他の
仕事では味わうことので
きない「やりがい」のあ
る仕事だということが分
かりました。



私にどれだけのことが出来
るか分かりませんが、一生懸
命に楽しみながら、高齢者の
方々の笑顔をエネルギーとし
て、頑張っていこうと思いま
す。

最後に、関係者の方々の温
かい笑顔のおかげで、一三〇
時間の全課程を無事修了する
ことができました。
本当に、ありがとうございました。



オフィススクリーニング 補助講習を受講して

(米子会場)



米子市

尾原 均

今年、定年退職を迎え数ヶ月、最近日常生活において、家の中の掃除を少しずつ行っていました。私自身、性的的に体を動かすことがあっていいる。また、清掃することにより家の中がきれいになりますし、清潔にもなる。そして、一番良かったのが、家内が喜んでくれるのです。

その姿を見ると、私自身の中で小さな満足感があります。そのような時にたまたま米子市報にオフィススクリーニング補助講習会があると記載されていましたので、清掃に対してもう一歩成長してみようと応募しました。

十一月五日開講式「起立・礼」の言葉、久しぶりに快い緊張感が漂い、八日間の講習が始まりました。初日の座学、清掃の目的、やはり職場内・家庭内でも、ごみ・ほこり・よごれ等があると人々の健康に悪影響がある事が良く理解でき、清掃の必要性を強く



感じました。

そして、清掃用の器具の名称・清掃の基本作業等あつという間の一日でした。

二日目以降、座学と実技に入り、労働安全衛生の講話、二十代と六十代との身体的機能の変化・運動能力・記憶力・全身反応能力・その他具体的にデータ等で説明を受け、六十代の日常生活又、安全作業の大切さを再認識させられました。実技指導では、窓ガラススクリーニング作業、専用の器具のウインドスクイジーを使用して、窓清掃の実技をしましたが、どうしても窓ガラスに水滴が残り、苦戦しながらの練習、そしてダストクロスモップの使用要領・シミ取り作業の要領・床磨き作業専用の機械ポリッシュャーを使用しての実技練習、前後左右の操作が思うようにできず、失敗の連続でした。講師の方々の見本演技を見ると、滑らかな動作、すばらしいものです。

しかし、実技練習も日が経つにつれて、少しずつ慣れてくるものです。うまく操作できるようになり、自信とうれしさが湧いてきました。次に床ワックス塗布作業、作業前と作業後の床を比較すると輝きが全然違い、喜びさえ感じました。

その他、初めての良き体験をさせてもらい、感謝の気持ちで



とってもキレイにできました

一杯です。今回の講習で一段と清掃に対して興味が増し、チャンスさえあれば短期的又はパートでも働いてみたいと強く感じるようになりました。

そして、清掃することにより職場・家庭が健康で気持ちよく過ごせる要因の認識と同時に高年齢になっても、やればできるという自信、そして常に生き甲斐を持つ、又健康の大切さを学ばせていただいた八日間の講習でした。

最後に、シルバー人材センター・ビルメンテナンス協会、そして講師の皆様方に心からお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

●鳥取県の最低賃金●

最低賃金は、最低賃金法に基づいて決定されたもので、鳥取県内では、使用者はこれより低い賃金で労働者を使用することは出来ません。

◎鳥取県内の事業所で働くすべての労働者とその使用者に適用される



鳥取県最低賃金
(1時間 629円)

発効年月日
平成20年10月26日

◎鳥取県内の特定の産業で働く労働者とその使用者に適用される



鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品
・デバイス製造業最低賃金 (1時間 730円)

発効年月日
平成20年12月25日



鳥取県各種商品小売業最低賃金
(1時間 689円)

発効年月日
平成20年12月27日

※詳細については、鳥取労働局賃金室又は最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

鳥取労働局賃金室 電話(0857)29-1705
米子労働基準監督署 電話(0859)34-2231

鳥取労働基準監督署 電話(0857)24-3211
倉吉労働基準監督署 電話(0858)22-6274

※シルバー会員の配分金について

シルバー人材センターが受注する仕事の対価については、当該地域における類似の仕事の対価に比べて著しく低くならないように留意し、仕事の見積基準等は、地域の最低賃金や業界の一般的な基準を参考にすることが必要です。



表紙のことば

松葉がに

甘くて上品な、心地よい弾力性があるて日本海の贅沢な旨みが濃縮されている鳥取県の冬の味覚の王者「松葉がに」とは、成長したズワイガニの雄で山陰地方における名称です。

なぜ、松葉がにと名付けられたのかは①長細い脚の形や脚の肉が松葉のように見えるから②脚をさいて水につけると身が松葉のように広がるから③調理の際に燃料に松の葉を使ったからとの諸説があるようです。

鳥取県においては、《正確には、成長しきった雄を松葉がに》《雌を親がに》《脱皮して間もない雄を若松葉がに》と呼んでいます。

◆美味しいカニのゆで方

●生がに

海水よりやや薄い塩味の熱湯に、脚を縛って入れ再び沸騰したら火を弱めて十八分〜二十分フタをしてゆでるとおいしい。

●冷凍もの

自然解凍又はお酒をふりかけて蒸す。

最近、かに殻に含まれている「キチン・キトサン」は医薬品、健康食品に使われ、コレストロール値の改善、血圧降下、また、かににはタウリンを豊富に含んでおり動脈硬化や肝臓病に効果があるといわれています。かにを美味しく食べるためには、【鍋、ゆでがに、生がにの刺

身、焼きがに」などいろいろなコースで味わってみてはいかがでしょう！

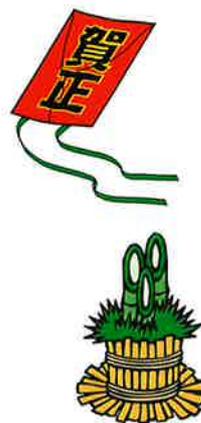


『松葉がに』と『紅ずわいがに』の総水揚量が日本一の境港水産物卸売市場にて



明けましておめでとございます。
今年もよろしくお願ひ申し上げます。

鳥取県シルバー人材センター連合会
スタッフ一同



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

(平成21年1月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	F A X	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051	木島 敏行
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野 治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	野島 完
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-17	0859-47-4540	0859-47-4541	西村 岩市
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	田子 貢
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	小林 實夫
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口 幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	足立 春人
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1004	足立 慎夫
(社)北栄町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	岸田 忠良
(社)大山町シルバー人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0858-53-1310	林原 彦一
八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3351	衣笠 春寿
江府町シルバー人材センター	689-4413	日野郡江府町州河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川 潔
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0870	0859-74-0365	瀬田 寿幸
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	山浦 基治
三朝町シルバー人材センター	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883	西村武津美

あとがき

あけましておめでとうございます。
今年も、関係各位の御協力のおかげをもちまして
第二十号が発行できましたことを厚くお礼申し上げます。
ます。

前年度より、景気後退がささやかれておりま
が、特に、昨年十月以降急激な経済の落ち込みとな
り、アメリカに始まった世界的な恐慌で百年に一度
の経済不況といわれております。

日本におきましても、大幅な株価の下落、円高と
企業にとりましても、厳しい状況が続き生産過程で
大幅な減産がうちだされております。

その中で、弱い立場の派遣労働者・期間労働者の
大量切り捨て、新卒予定者の内定の取り消し、若年
層の雇用不安が続いております。当然、高齢者にと
りましても、働く場が失われ一段と厳しい状況とな
っております。

高齢者が圧倒的に多い社会が到来する中、シルバ
ー人材センターも様々な厳しい状況を抱えておりま
すが、少しでも高齢者のニーズに応え、元気な高齢
化社会の担い手を目指し、機能を充実し地域に貢献
していくため頑張っております。

本年も、関係皆様方の一層のご理解、ご支援を賜
りますようよろしくお願い申し上げます。

会報 鳥 取 第20号
平成21年1月1日 発行

発 行：社団法人 鳥取県シルバー
人材センター連合会

所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76

電 話：0859-37-2531
F A X：0859-37-2537

印 刷：(有)ニシキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150
電 話：0859-32-2250